

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：ナーサリースクールT&Y こもれびの森	種別：認可保育所
代表者氏名：重田 伸子	定員（利用人数）：90名 （利用人数：87名）
所在地：〒252-0332 相模原市南区西大沼3-5-8	
TEL：042-702-9885	ホームページ： <a href="http://www.satori-hoikuen.com/index.html">http://www.satori-hoikuen.com/index.html</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2015年2月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人さとり	
職員数	常勤職員：19名 非常勤職員：12名
専門職員	園長：1名 子育て支援員：1名
	保育士：23名 栄養士：1名（外部委託）
	事務員：1名 調理員：3名（外部委託）
施設・設備 の概要	保育室：7室 ランチルーム：1室
	トイレ：6ヶ所 調理室：1ヶ所
	事務室：1ヶ所 職員休憩室：1室
	園庭：有

③ 理念・基本方針

【保育理念】

子ども一人ひとりを大切にし、保護者との一体感を持ち、地域との交流を深め、愛される保育園を目指します。

【保育方針】

- ☆子どもの人権を尊重します。
- ☆子どもの生きる力の基礎を育てます。
- ☆地域の自然を生かし、探究心・想像力を養います。

【保育目標】

- ☆自分で考え、行動できる子。
- ☆自分も友達も大切にできる子。
- ☆自然の中で遊べる子。

④ 施設・事業所の特徴的な取組

保育園の前には「こもれびの森」が広がり、春には桜の木の下で春の風を感じながらのかけっこ、夏には森の木陰でお茶を飲みながらひと休み。秋には積み上げると背丈ほどにはなる枯葉のベッドに寝転び、冬は霜柱を踏んだ時のシャリっとする感覚を楽しむなど、季節の移り変わりを感ぜられる恵まれた環境の保育園です。

●様々な体験や遊びを通して学びを深め「生きる力」を育てるため、職員が3つの係

に分かれ取り組みを行っています。

・おもちゃ・リトミック係：職員の手作りおもちゃや子どもたちが自分で製作し楽しめるおもちゃの提供をします。自分の力で完成することで、ものを作ることの楽しみと達成感を感じ、自己肯定感が高まります。リトミック係は、身体的、感覚的、知的な発達を促すことが出来るような楽しめる指導を行います。

・食育係は、毎月の「食育の日」に夏野菜の栽培やいもほりなどの行事を行います。

・保健衛生・安全係は、保育園全体の衛生、安全の環境維持と向上に努め、基本的な生活習慣が身に付くよう手洗い指導や歯磨き指導など楽しく学べるような行事を行います。

●ECCによる英会話教室(2.3.4.5歳児)を行っています。ネイティブの先生が週に1回来園し、歌や踊り、挨拶や季節の単語などに無理なく楽しく触れることのできるプログラムを行っています。

●職員一人ひとりが人権に対して意識を持ち、子どもの主体性を大切にしています。気持ちに寄り添っていくとともに、考える力が身に付き、行動することができるように取り組んでいます。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年5月1日（契約日）～ 令和6年1月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2018年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)担任だけでなく、園全体で一人ひとりを見守る保育を行っています

園では、担任だけでなく全職員が、子ども一人ひとりの発達状況や個性の違いを理解し、その日の体調も含め、その子に合わせた対応ができるように取り組んでいます。子どもは、一人ひとり好きな遊びも性格も違い、褒め方、注意の仕方、子ども同士のトラブルがあった時の仲立ちの仕方も、その子どもに合わせた対応が必要です。子どもに寄り添った対応ができるよう、園全体で子どもの情報共有を行っています。朝夕の合同保育ではコーナーを作り、好きな遊びができるようにしたり、それぞれの子どもの自立の意欲に合わせた保育を行っています。

2)食育に力を入れており、子どもたちは食事に興味を持ち楽しんでます

子どもの発達に合わせた食育計画を作成し、食に関する豊かな経験を通し、興味と食を楽しむことができるよう取り組んでいます。野菜を育て、見て、触って、匂いを嗅いだりする体験を大事にしています。3歳からはクッキング活動も取り入れ、自分たちが育てた野菜の調理体験をしています。秋には近隣のさつま芋畑で芋ほりを体験させてもらっています。収穫したサツマイモはおやつにして食べています。4、5歳児はカウンター越しに調理室が見えるランチルームで、ビュッフェ形式で食事をしています。

3)ヒヤリハットを保育に生かすことが期待されます

安心安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築され、取り組まれています。ヒヤリハットの事例収集が殆どない状況です。ヒヤリハット報告は少ないことが安全に繋がるのではなく、収集することが職員の「危機への気づき」を促す効果を生み出します。夏のプールや水遊び、森の中の散歩、屋上での運動など、保育の各場面や子ども一人ひとりの行動の特徴などの中でのヒヤリハット報告により、事故防止への対応策が適切に講じられることが期待されます。

4) 保護者に保育の様子を伝える工夫が望まれます

クラスごとに連絡帳を活用し、送迎時にその子に応じた様子を伝え、健康に過ごせたり、成長が感じられるよう話をしています。入園説明会や入園式などで保育方針・保育目標等を伝えています。保護者は保育参加・参観日に参加して、園での生活を体感・体験していますが、日頃の子どもの保育の様子を知りたいとの要望があります。ドキュメンテーションやICTアプリの導入等により、保育の様子を伝えることが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

開園10年を迎え、保護者の皆様や地域の方々との交流も深まり、ご理解をいただきながら定着してまいりました。前回の受審から5年経ちましたが、この5年間は新型コロナウイルスの流行という、経験したことのない状況の中、感染リスクの中での保育の質の向上に職員一同で向き合い、取り組んできました。

今回の受審では、自園の保育や運営のあり方を保育士だけでなく、職員全体で振り返りを行う機会をいただきました。自分たちの保育の良い点や課題、改善点を話し合い、更なる課題も見えて来ました。専門的、客観的な立場での評価をいただいたことは、今後の課題を再認識することにつながりました。中でも保育の工夫についてなど良い評価をいただいたことは、今後の大きな励みと自信に繋がりました。今回の結果を受け止め、今後のさらなる保育の質の向上と、よりよい保育の提供ができるよう全職員で取り組んでいきたいと思えます。

お忙しい中アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。頂きましたご意見・ご要望などは、今後の保育運営つなげていきたいと思えます。

ナーサリースクールT&Yこもれびの森  
重田 伸子

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり